

目黒区在宅医療・介護連携に関する研修会（12月15日）の様子

（講義・事例紹介の様子） 講義テーマ：「在宅療養者へのがん緩和ケアにおける連携づくり」

講師：ソフィア訪問看護ステーション駒場 管理者：渡邊 元和 氏



研修会には、医師・歯科医師・薬剤師・病院ソーシャルワーカー・訪問看護ステーション看護師・居宅介護支援専門員・訪問介護員など52名の専門職の方々が集まりました。

参加者からは、「それぞれの職種の方から、専門を生かした役割について、活発に意見交換ができました。」「在宅生活へのチームケアの重要性を再認識をする会となりました。」などの感想が寄せられました。

（多職種グループ討議の様子）

多職種グループでは、模擬在宅支援チームをつくり、ご本人やご家族の望む療養生活を支えるための支援について、話し合いがなされました。



（発表の様子）

各グループの発表者からは、「ご本人やご家族の気持ちに寄り添って、チームで支援していくことが重要」、「自分の業務を良く知ってもらい、介護者の負担の軽減をしていきたい」などの報告がありました。

